

2015. 9. 22



# NPOフォーラム・だより No.69

## NPO法人安房文化遺産フォーラム

代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271

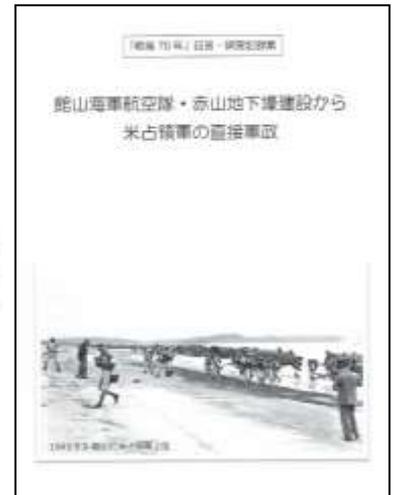
Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <http://bunka-isan.awa.jp>

**会員・寄付募集中!** ⇒ 郵便口座 00260-1-97307 名義:NPO法人安房文化遺産フォーラム

年会費=A会員 2,000 円(総会出席権あり)/B会員:個人 1,000 円(ニュースのみ送付)・法人 10,000 円

去る9月5~7日にかけて、第19回戦争遺跡保存全国シンポジウム千葉県館山大会を開催しました。市民および全国からの来訪者400名が参加し、成功裡に終えました。主催の戦争遺跡保存全国ネットワーク、現地実行委員会、後援の館山市・館山市教育委員会、館山市観光協会、千葉県歴史教育者協議会の皆様のご協力に感謝申し上げます。河正雄(ハ・ジョンウン)氏による記念講演、館山市・沖縄県南風原町・高知県香南市のまちづくり事例紹介など、大変好評を得ました。特別分科会では、米占領軍の館山上陸と「4日間」の直接軍政や、青山学院水泳部合宿所の退去と赤山海軍航空隊に関する新調査の報告がありました。

パルシステム千葉の補助事業により、「戦後70年」証言・記録集とDVD「南房総の戦争遺跡」を発行することができました。各500円で頒布しますので、希望者はNPO事務局へご連絡下さい。



### ■「戦後70年と館山病院」展

◎ 9月13日(日)~10月3日(土) 館山病院ギャラリー 入場無料

1945年9月3日、カニングム准将率いる第8軍第11軍団112騎兵連隊戦闘団の正規軍3,500人が館山に上陸した。学校の閉鎖、劇場や酒場の閉鎖、市民の夜間外出禁止など、「米占領軍ニヨル館山湾地区ノ占領」6項目の指令が出され、直接軍政が敷かれた。木村屋旅館に外務省終戦連絡委員会が設置され、市民代表として館山病院副院長の川名正義医師(千葉県医師会長)が占領軍との交渉にあたった。直接軍政が4日間で解除となった背景には、姻戚にあたる洪沢栄一の侍医として渡米した経験をもつ穂坂与明院長(安房医師会長)ともども、国際人であったことが影響していると考えられる。米軍医は館山病院を視察し、交流を深め、10月には院内に英会話教室も開かれている。1948年には、穂坂与明が初代理事長となり、館山ユネスコ協力が創立され、平和のまちづくりが進められた。

\*布良という聖地~青木繁「海の幸」誕生の漁村と小谷家住宅に関する展示は、延期となりました。

### ■ウガンダ支援バザー in 館山病院感謝祭

◎ 10月4日(日)10:00~14:00 館山病院駐車場広場 入場無料

安房南高生から始まり、安房高・安房西高と受け継いだウガンダ支援活動は、20年にわたって信頼と友情の絆を育んできた。今年度は、安房西高校IRC部より文化祭のバザー売上&募金27,000円、第11回安房・平和のための美術展よりチャリティ基金50,000円を寄贈された。館山病院感謝祭では5万円を目標として、バザー&募金をおこなう。9時より準備開始、スタッフ&物品を募集中!

### ■第21回安房地域母親大会 映画「疎開した40万冊の図書」上映&監督トークショー

◎ 10月10日・11日(土日)13:30~16:40 館山市コミュニティセンター 映画鑑賞券500円

太平洋戦争末期、日比谷図書館では蔵書の疎開が行われた。本を守ろうと決断した図書館員、危険な目にあいながら図書を運んだ高校生、疎開先で土蔵を提供した村人らの想いが交錯する。東京大空襲で21万冊を消失したが、守られた40万冊の貴重な文献は今も受け継がれているという。東日本大震災で被災した福島県飯館村の図書館復興も描かれ、文化の灯を守る大切さを描いた珠玉の作品。

金高謙二監督は、1973年館山海員学校(現在の館山海上技術学校)卒業、外航船の船員になる。1975年、映画の勉強を目的にイタリアに渡り、語学留学するが、学校閉鎖で帰国。人形劇団「ドレミ座」入団、ビデオ制作会社を経て、新藤兼人監督につき、フリーの映画監督となる。

○ おやこピースカフェ「おやこ三代できこう!話そう!平和のこと」(10日・無料)

○ パネル展・ワークショップ「安房での戦争~忘れず伝え続けたいこと」(10日・11日・無料)

## ■ 小谷家ワークショップ～書画の表装教室

【要予約】

- ◎ 11月10日(火) 10:00～15:30 富崎小学校 文化庁:NPO等による文化財建造物の管理活用事業  
来春公開予定の青木繁「海の幸」誕生の家・小谷住宅からは、明治期の古文書とともに著名な書家や韓国の王族などが書き残した貴重な書画がたくさん発見されている。これらを保存・活用するために、専門家の実技指導を受けて、表装(軸装)の実習をおこなう。初心者大歓迎！ ◎ 準備するもの=エプロン、物差、タオル、雑巾、弁当

青木繁「海の幸」オマージュ展 さいたま展  
10月31日(土)～11月14日(土)10:00～18:00

ギャラリー彩光舎 埼玉県さいたま市浦和区岸町 6-2-1 048-822-9952

小谷家住宅保存  
のチャリティ展

房総半島から太平洋にひろがる分棟型民家の分布を考える  
～カマドを分離した日本の民家～

10月17日(土)10:15～16:00 千葉県立房総のむら

日塔先生から、  
小谷家の紹介が  
あります！

- ◎ 見学解説会 10:15～11:15 (入場料 240 円) 房総のむら「大木戸」入口前にて受付  
◎ 講演会・パネルディスカッション 12:30～16:00 (入場無料) 房総のむら内 旧学習院初等科正堂  
基調講演=日塔和彦「安房の分棟型民家」(元東京芸術大学客員教授・館山市文化財審議委員会委員)  
パネリスト=原田聡明「九州の分棟型(別棟)民家と沖縄・南西諸島の民家」(熊本大学非常勤講師)  
中村利夫「東海地区の分棟型釜屋建民家」(静岡県文化財建造物監理士)  
杉本尚次(日本民族建築学会会長)  
◎ 民家展(同時開催) 10月17日(土)～31日(土) 房総のむら旧学習院初等科正堂

地方創生のまちづくりと市民参加セミナーin 亀戸

9月26・27日(土日)10:00～18:00 参加費 29,000 円

主催:NPO全国生涯学習まちづくり協会(福留強理事長)、まちづくりコーディネーター講座。名ガイドの片方義明さん(房日新聞社長)も講師陣。 <http://machi-ken.jp/>

ボランティア募集！

かいた婦人の村 草刈

10月1日(木)

8:30～12:00

## ◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

- ◎ 10名以上の団体を対象に、スタディツアーガイドを有料で承っています。  
・参加者1人あたり1,500円=座学・ガイドブック・数ヶ所の見学ガイド付き  
・ガイドブックなし、座学なしなど、時間と料金については応相談。  
◎ 毎月第一日曜の午前は、個人や小グループを対象に、赤山地下壕ガイドサービス実施

9月24日(木)10:00～15:00 君津市中央公民館 25名=座学・赤山・掩体・上陸  
9月26日(土)10:00～12:30 国内の韓国・朝鮮をめぐる旅 22名=大巖院・布良・座学(神社集会所)  
10月1～2日(木金) 東葛飾高校 18名=座学・赤山・かいた村・掩体・上陸/布良・大巖院  
10月4日(日)9:30～12:00 赤山地下壕ガイドサービス  
10月9日(金)10:00～16:00 渋谷幕張学園中学=戦跡コース40名/里見コース30名/水産コース40名  
10月14日(水)9:30～11:00 ニューギニア遺族会 13名=赤山・上陸  
10月14日(水)16:40～17:20 わせがく高校 120名=座学(シーサイドH)  
10月15日(木)14:00～16:00 // 120名=赤山・掩体・上陸  
10月19日(月)15:00～15:30 三本松教会 20名=128高地  
10月20日(火)10:00～11:00 国府台女子学院中学1年=出前授業  
10月26日(月)9:30～12:00 新宿区柏木民生児童委員協議会 25名=座学・赤山・上陸  
10月27日(火)13:15～14:15 新座消防協力会 20名=赤山  
10月28日(水)13:30～15:30 東大和市上北台公民館=講義「戦跡と文化財を活かしたまちづくり」  
10月29日(木)11:00～16:30 昭和女子大学 100名=座学(大学寮)・赤山・掩体・上陸  
10月30日(金)10:00～12:30 国府台女子学院中学1年 200名=赤山・大房  
11月1日(日)9:30～12:00 赤山地下壕ガイドサービス  
11月11日(水)9:00～16:00 館山総合高校1年 140名・観光プログラム=赤山・布良  
11月14日(土)10:30～15:30 大網白里市生涯学習課 30名=座学(豊津)・赤山・掩体・上陸  
11月15日 or 29日(日) 千葉市花見川区後援会 50名  
11月20日(金)11:00～15:30 東大和市上北台公民館 40名=赤山・布良  
12月6日(日)9:30～12:00 赤山地下壕ガイドサービス